

# 「広島神楽」定期公演へようこそ!

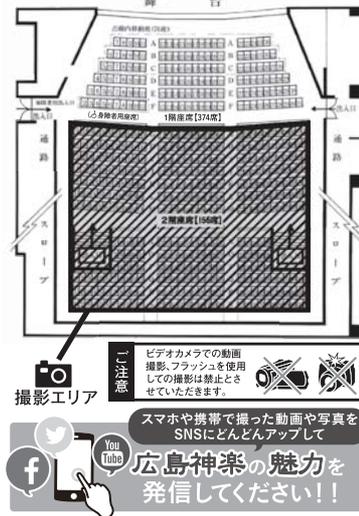
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。  
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。  
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について  
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。  
※ビデオカメラでの**動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。  
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

## 撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



## 4月11日のタイムスケジュール

出演：雄鹿原下組神楽団(北広島町)

19:00～開演

19:05～第一幕『天神』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『黒塚』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をして

いただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。

本日の記念に是非ご参加下さい。

また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に

思ったことなど、直接団員にお聞きください。

(舞台へは靴を脱いでお上がください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

おがわらしもぐみかぐらだん

## 雄鹿原下組神楽団プロフィール ～山県郡北広島町～

明治初期に島根県の七城より伝承された石見神楽の優雅な六調子の旧舞を先輩各位から受け継いだ舞方を変えない様に演じる事を頑張っています。

毎年、地元の神社で奉納神楽を2回程度公演をしています。

近年団員が少ない状況では有りましたが、徐々に若い団員が入団し、伝統の基本を振り返りつつ、今まで舞えなかった舞の掘りお越しにも努めて行きたいと思っております。

## 第一幕『天神』(てんじん)

平安時代、宇多・醍醐(だいが)天皇の代に菅原道真(みちざね)はその文才を認められ、右大臣まで上り詰め、世にも稀な出世をします。これを妬んだ左大臣・藤原時平(ときひら)は謀(はかりごと)をめぐらし、道真を落とし入れます。九州・太宰府に左遷された道真は無実を訴えますが許されず、その地で無念の死を迎えます。すると、都では天変地異が続き、大きな雷鳴がとどろいたと言います。道真は雷神となり、鬼となり果てた時平を討つという物語です。

その後、道真は北野神社に祀られ、学問の神さまとして広く親しまれ、各地に天神さんの分社が設けられました。

こうした道真の話が、謡曲「雷電」や神楽「天神」となったと言われています。

【出演】	大太鼓 … 松尾 良平	菅原道真 … 藪谷 侑平
	小太鼓 … 藪谷 大喜	使 … 今田 晃弘
	手打鉦 … 大下 杏祐	左大臣時平 … 斉藤 健次
	笛 … 前 宝作	

## 第二幕『黒塚』(くろづか)

『鬼が棲む』と里人は恐れ、近づくことのない那須野ヶ原の黒塚へ、那智の東光坊の山伏・阿闍梨祐慶大法員(あじやりゆうけいほういん)と剛力(ごうりき)がさしかかる頃、日が暮れました。そこで、柴の庵(粗末な小屋)を見つけ、剛力は一夜の宿を願い尋ねると、無理難題を押し付けられ、借りることを諦めます。この宿主こそ、里人に恐れられている金毛九尾(きんもうきゅうび)の狐の化身だったのです。

我が身の業を恥じた狐は仏法に救いを求めますが、性(さが)と因果からは逃れられず、夜半、本性を現します。危く逃げた二人でしたが、たちまち追いかけて来た狐に剛力は襲われてしまいます。その後、弓の名人・三浦ノ介(みうらのすけ)、上総ノ介(かずさのすけ)によって悪狐は退治されます。悪狐は、絶命の時、「毒石となって世に害を放ってやる」と言い残します。

この物語は、「安達ヶ原の鬼女の伝説」と「那須野ヶ原の殺生石(悪狐)の伝説」この二つの伝説が組み合わされた物語です。

【出演】	大太鼓 … 藪谷 伸治	法 員 … 今田 晃弘	三浦の助廣剛 … 藪谷 大喜
	小太鼓 … 近藤 正英	剛 力 … 久茂谷 美保之	上総の助芳秋 … 藪谷 侑平
	手打鉦 … 大下 杏祐	女 … 松尾 良平	
	笛 … 前 宝作	狐 … 藤原 章太郎	